

Ⅲ-1 計画編（一方向出入口）

1-1 エレベータの仕様、台数の選定

- エレベータの仕様、設置台数は、ビルの規模、用途、立地条件などから予測されるピーク交通需要に対する5分間の輸送能力及び平均待ち時間を指標として効率良いサービスができるように選択することが大切です。
- 住宅用エレベータとして、6名乗り、9名乗りの他に、13名乗りもご用意しています。ピアノ（アップライトタイプ）や大型家具も運べるよう、9名乗り（トランク付き）または13名乗りをおすすめいたします。また、2台以上設置の場合は、内1台を9名乗り（トランク付き）または13名乗りとすることをおすすめいたします。
特に、13名乗りはトランクを開閉する手間をかけずに大きな物を運ぶことができますので、大変便利です。
なお、13名乗りよりもかご奥行きを延長した、15名乗りもご用意しています。

エレベータ配置計画上のご注意

- 停止階が不揃いの場合は、サービスが低下する場合があります。
- エレベータが対向配置となる場合は、ホールの広さを十分にとってください。
- 輸送効率を高めるため、エレベータはできるだけ建物中央に集中配置してください。

フジテックのホームページで設計に必要な情報をご提供しています。

- BIMダウンロード
- CADダウンロード
- お手軽交通計算

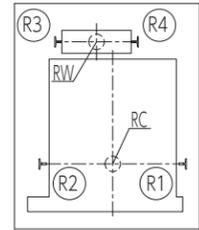
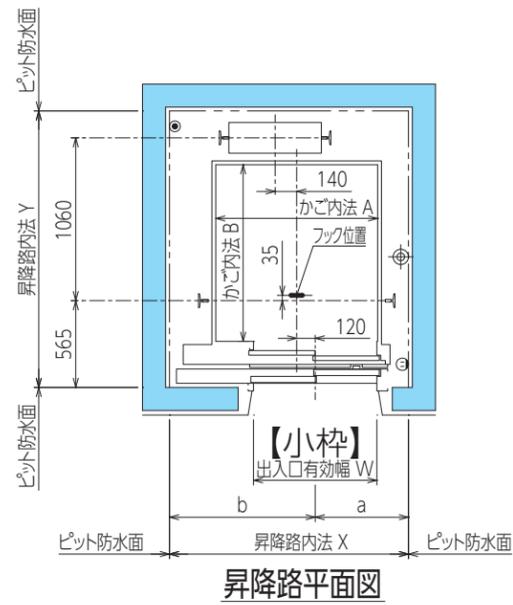
上記3つのサービスは、簡単な会員登録ですぐにご利用いただくことができます。

設計をお考えの方は <https://www.fujitec.co.jp/sales/>

1-2 基本仕様

No.	型式	定格速度 (m/min)	容量		電動機容量 (kW)
			定員 (名)	積載 (kg)	
1	R-6-2S-45	45	6	450	2.1
2	R-6-2S-60	60			2.8
3	R-6-2S-90	90			4.2
4	R-6-2S-105	105			4.9
5	R-6-2S-120	120			5.6
6	R-9-2S-45	45			9
7	R-9-2S-60	60	3.7		
8	R-9-2S-90	90	5.6		
9	R-9-2S-105	105	6.5		
10	R-9-2S-120	120	7.4		
11	RT-9-2S-45	45	9	600	
12	RT-9-2S-60	60			3.7
13	RT-9-2S-90	90			5.6
14	RT-9-2S-105	105			6.5
15	RT-9-2S-120	120			7.4
16	R-13-2S-45	45			13
17	R-13-2S-60	60	5.6		
18	R-13-2S-90	90	8.3		
19	R-13-2S-105	105	9.7		
20	R-13-2S-120	120	12.0		
21	R-15-2S-45	45	15	1000	
22	R-15-2S-60	60			6.2
23	R-15-2S-90	90			9.2
24	R-15-2S-105	105			11.0
25	R-15-2S-120	120			13.0

1-3 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-6)

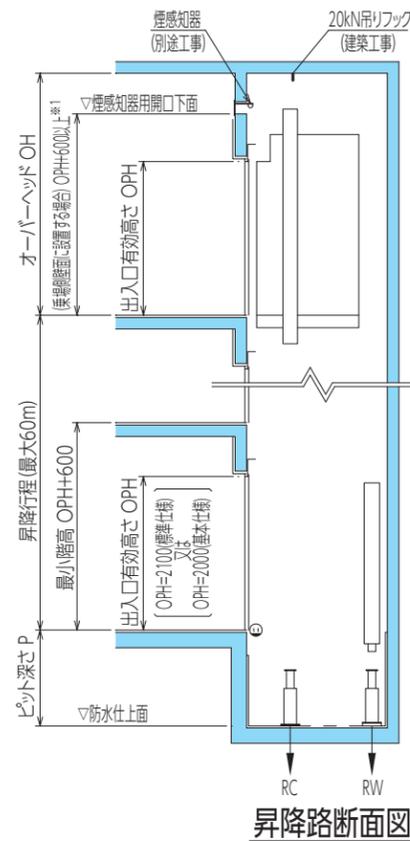
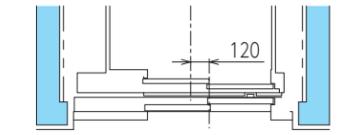
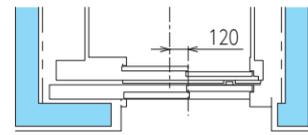
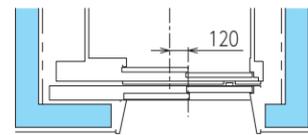


レールに作用する荷重値

P_y		P_x	P_y
P_x	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 地下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 地下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: 6500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 地下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 地下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: 3500mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 地下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 地下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル 付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-6-2S-45	1050×1150	800	1550×1700	1550×1800	3000	3050	3150	1250	605	945
R-6-2S-60					3350	3400	3500			
R-6-2S-90			1600×1750	1600×1850	3450	3500	3600		630	970
R-6-2S-105										
R-6-2S-120										

- [注] ①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
 ②昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑪昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

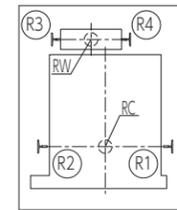
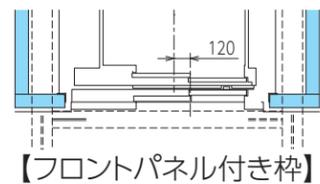
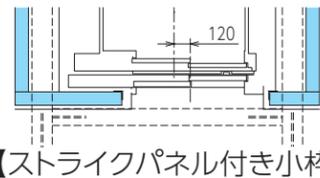
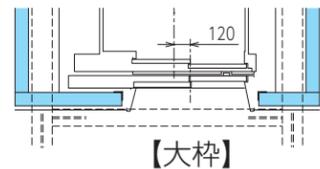
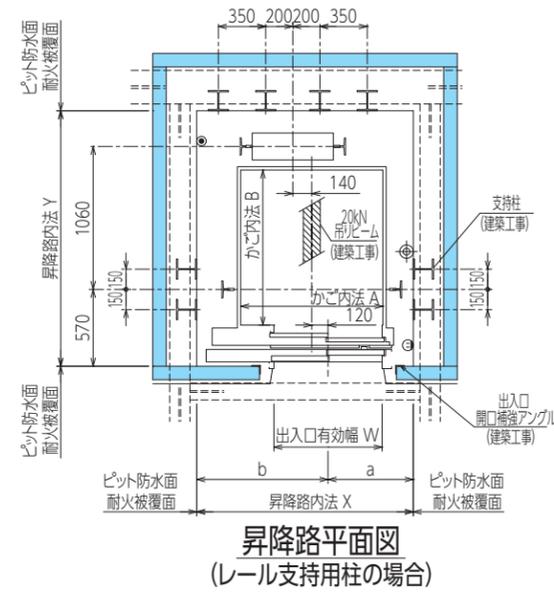
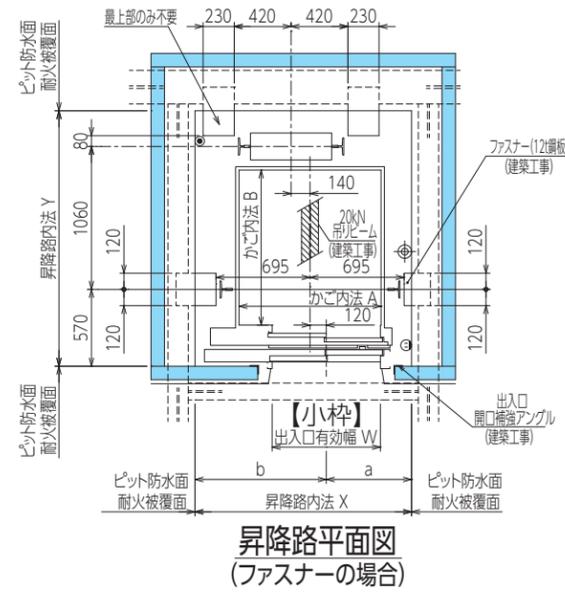
荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-6-2S-45	30	28	33	25	51	49	3.6	2.5	4.5	2.8
R-6-2S-60					63	61				
R-6-2S-90					65	63				
R-6-2S-105					67	65				
R-6-2S-120					67	65				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

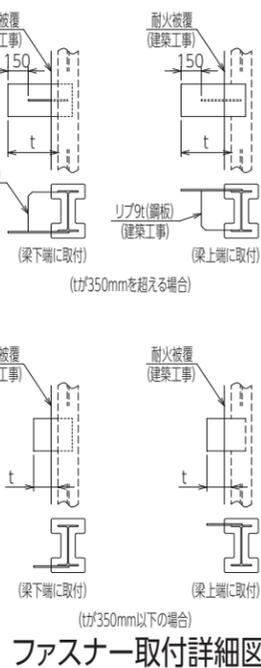
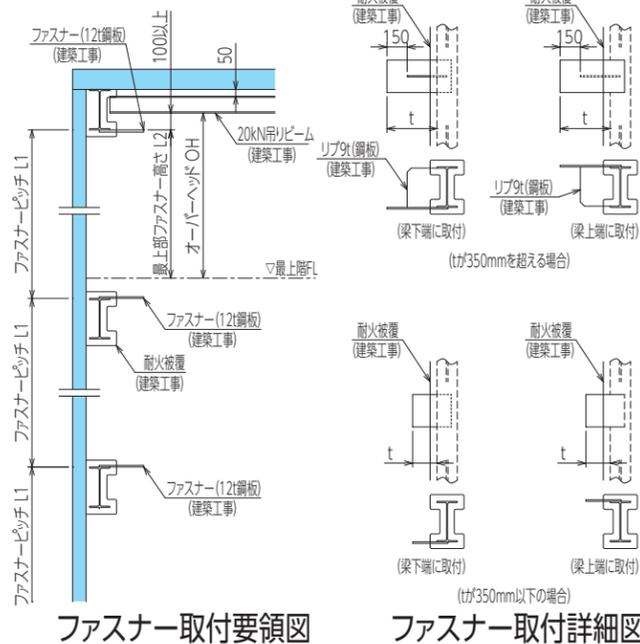
1-4 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-6)



レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは 5mm以下としてください。



電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6500mm 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6500mm 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(別途工事) (電気工事) (電気工事)

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-6-2S-45	1050×1150	800	1600×1750	1600×1850	3000	3050	3150	1250	630	970
R-6-2S-60					3350	3400	3500			
R-6-2S-90					3450	3500	3600			
R-6-2S-105										
R-6-2S-120										

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム (建築工事) が必要となります。
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針 (2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備 (別途工事) が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上 (仕上げを含まず) にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm² (Fc21) 以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-6-2S-45	30	28	33	25	51	49	3.6	2.5	4.5	2.8
R-6-2S-60					63	61				
R-6-2S-90					65	63				
R-6-2S-105					67	65				
R-6-2S-120					67	65				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

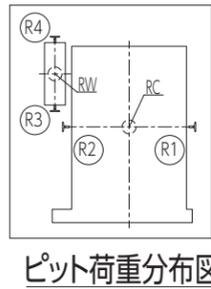
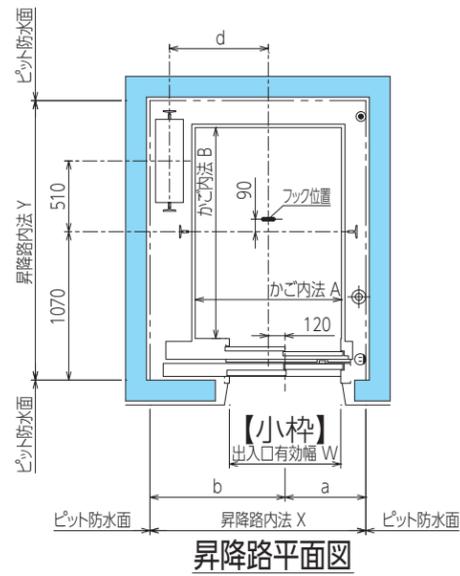
ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-6-2S-45	4200以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
R-6-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
R-6-2S-90				
R-6-2S-105				
R-6-2S-120		3200~3350	3250~3400	3350~3500

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

1-5 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-9)
【昇降行程：60m以下の場合】

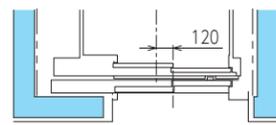
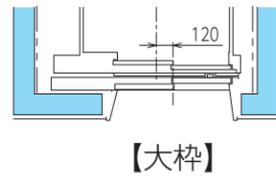


レールに作用する荷重値

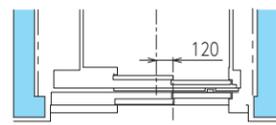
Py	Px	Px	Py
		かご	PC1
		おもり	PW1
			PC2
			PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

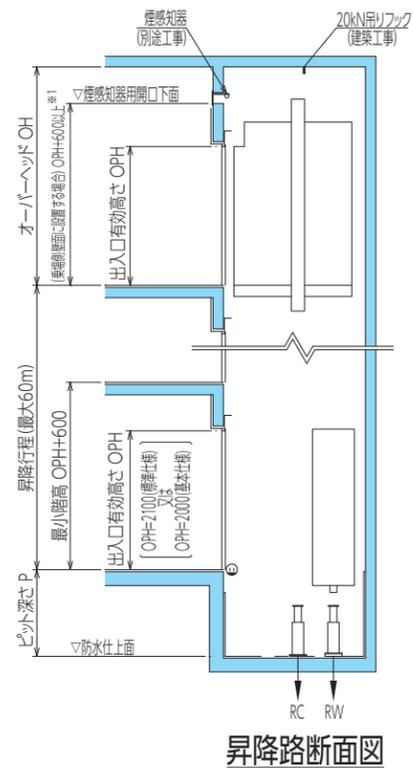
電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6000mm	● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±6000mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±3000mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ビット深さ P	a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程						
					30m以下	45m以下	60m以下				
R-9-2S-45	1050×1520	800	1550×2100	1550×2200	3000	3050	3150	1250	580	970	710
R-9-2S-60					3350	3400	3500				
R-9-2S-90			1600×2150	1600×2250	3450	3500	3600		605	995	715
R-9-2S-105											
R-9-2S-120											

- [注] ①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
 ②昇降路内法はビット防水仕上の有効寸法です。また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ビット寸法は2000mmです。
 ⑤最大ビット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑥ビット下部は原則として使用できません。
 ⑦昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑧クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑫昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

荷重表

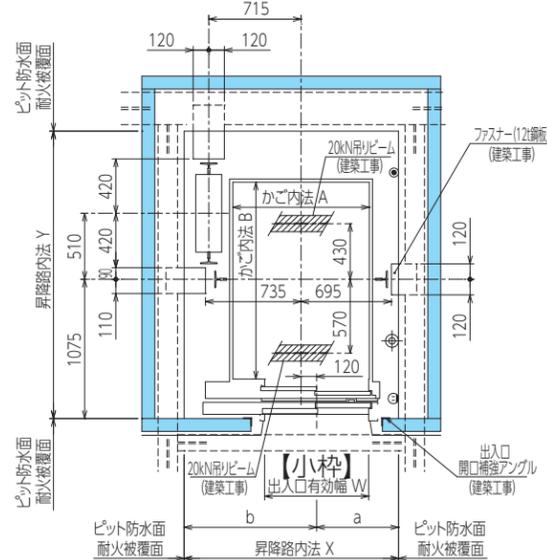
(単位: kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	33	35	43	23	59	55	4.2	3.5	5.0	2.7
R-9-2S-60					74	69				
R-9-2S-90					76	73				
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

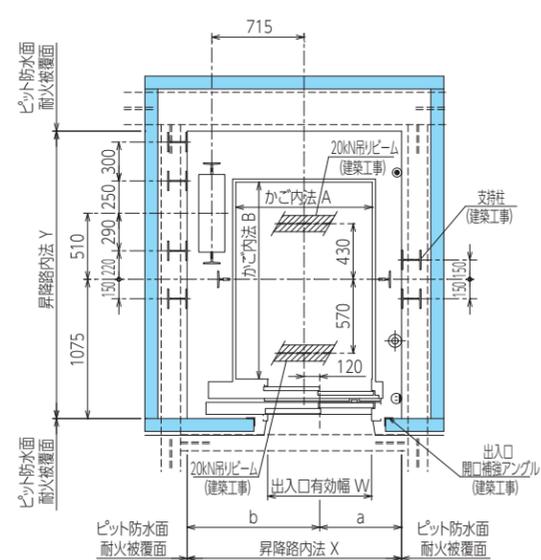
- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

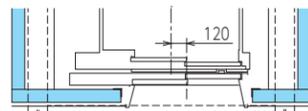
1-6 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-9)
【昇降行程：60m以下の場合】



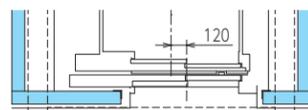
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



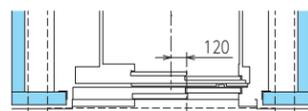
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



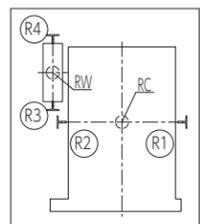
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き小枠】

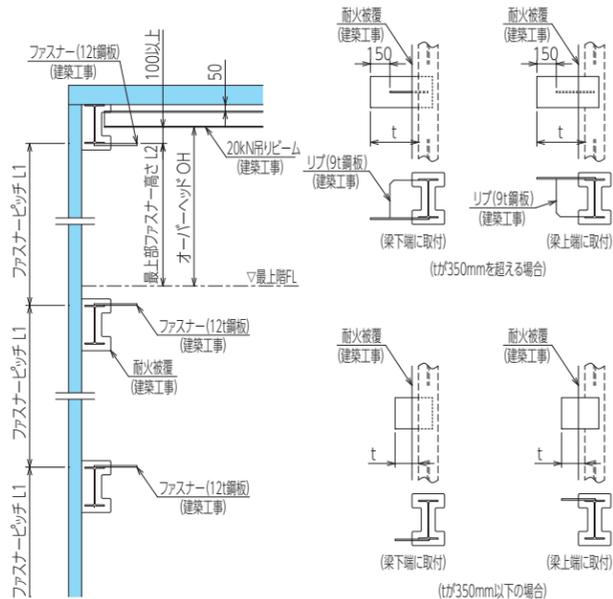


ピット荷重分布図

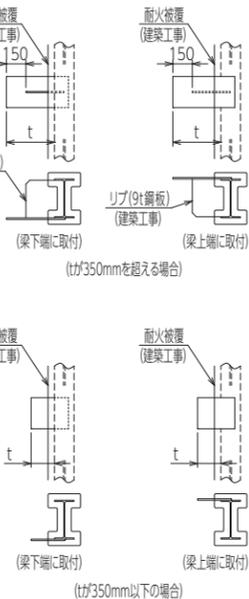
レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下とさせていただきます。



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:6000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+6000mm	(別途工事)
電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-9-2S-45	1050×1520	800	1650×2150	1650×2250	3000	3050	3150	1250	630	1020
R-9-2S-60					3350	3400	3500			
R-9-2S-90					3450	3500	3600			
R-9-2S-105										
R-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 ④最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げ含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	33	35	43	23	59	55	4.2	3.5	5.0	2.7
R-9-2S-60					74	69				
R-9-2S-90					76	73				
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

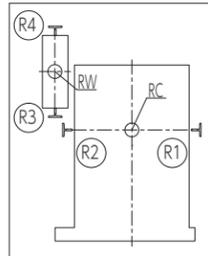
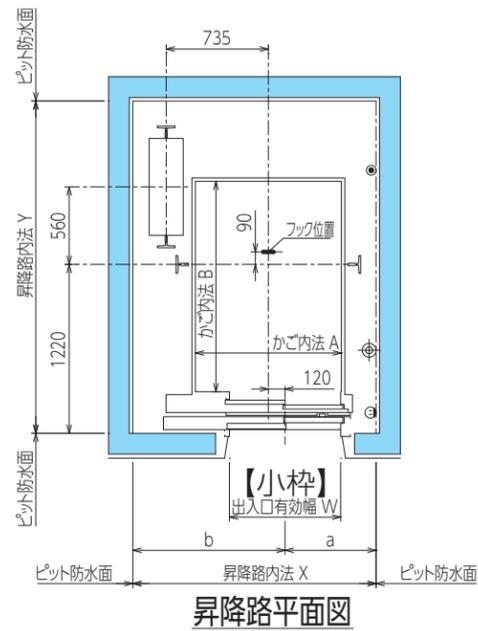
ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-9-2S-45	4200以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
R-9-2S-60				
R-9-2S-90		3100~3250	3150~3300	3250~3400
R-9-2S-105				
R-9-2S-120		3200~3350	3250~3400	3350~3500

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

1-7 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-9)
【昇降行程：60m超の場合】



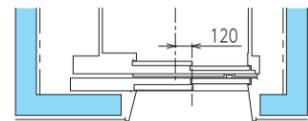
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

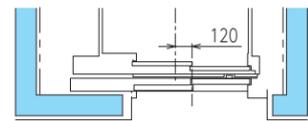
Py	Px	Py

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

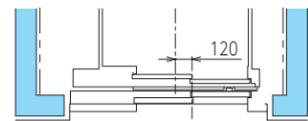
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: 6000mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: 3000mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



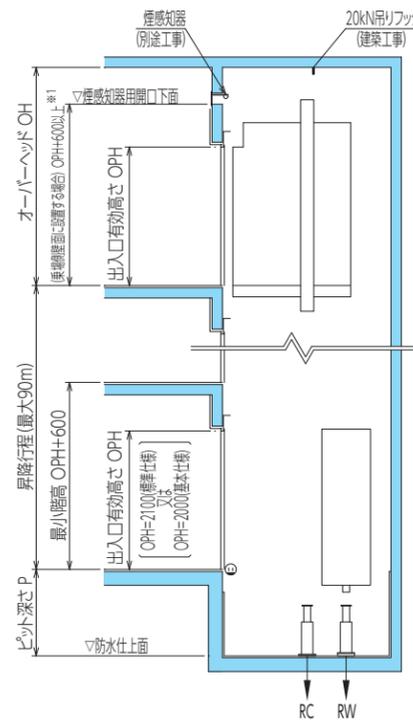
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
R-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2300	1750×2400	3500	3600	1500	1850	655	1095
R-9-2S-105					3600	3700				
R-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑩昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

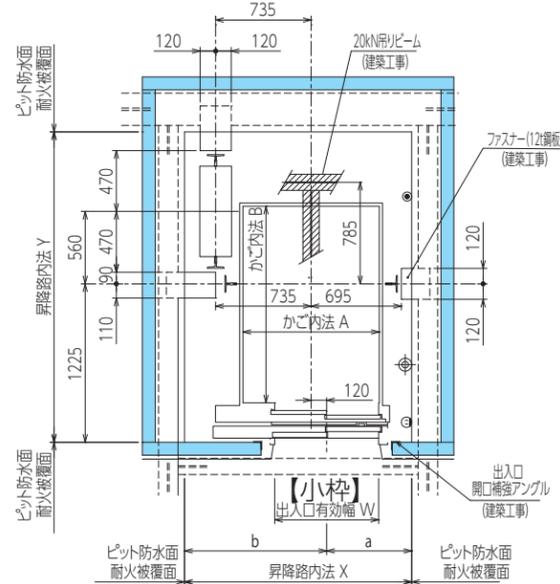
荷重表

(単位: kN)

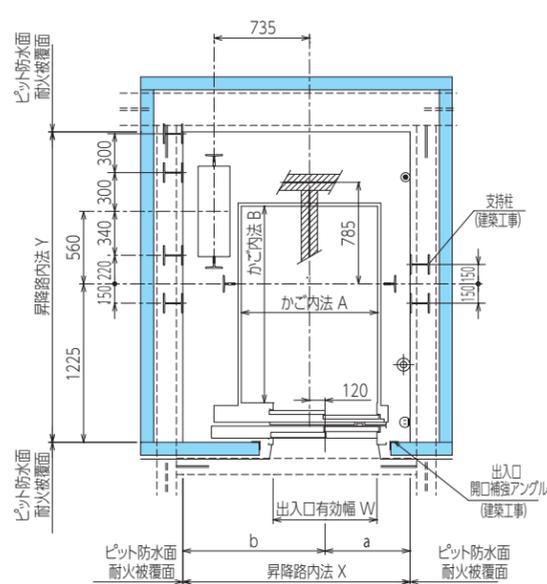
型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-90	41	60	37	30	76	73	4.2	3.3	5.2	2.7
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

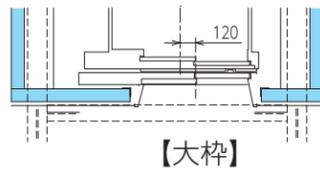
1-8 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-9)
【昇降行程：60m超の場合】



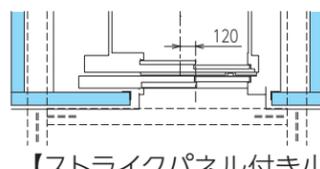
昇降路平面図
(ファスナーの場合)



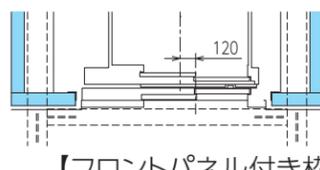
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



【大枠】

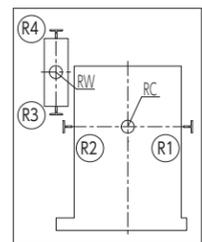


【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】

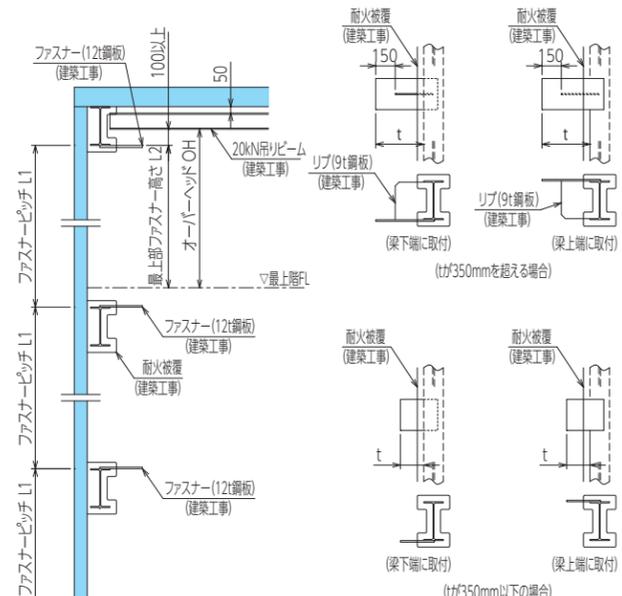
電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
NTTモジュラージャック 引き込み高さ：最下階FL±200mm 引き出し電線長さ：6000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ：最下階FL+H（天井裏レベル） 引き出し電線長さ：H+6000mm	(別途工事)
電源引き込み位置 引き込み高さ：最下階FL-200~0mm 引き出し電線長さ：3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ：最下階FL+H（天井裏レベル） 引き出し電線長さ：H+3000mm	(電気工事)
点検用コンセント100V 引き込み高さ：最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ：最下階FL±200mm	(電気工事)



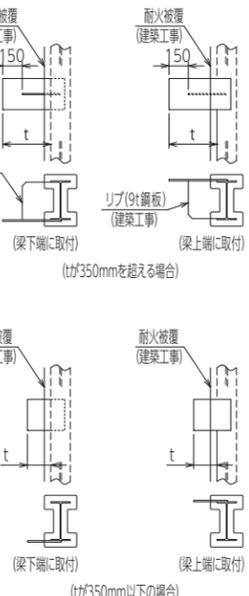
レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下とされている。



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		80m以下	90m以下		
					80m以下	90m以下				
R-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2300	1750×2400	3500	3600	1500	1850	680	1070
R-9-2S-105					3600	3700				
R-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
③最大ピット寸法は2000mmです。
最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
④ピット下部は原則として使用できません。
⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。
⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
⑧昇降路のコンクリート厚さは150mm以上（仕上げを含みます）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-90	41	60	37	30	76	73	4.2	3.3	5.2	2.7
R-9-2S-105					77	74				
R-9-2S-120					77	74				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

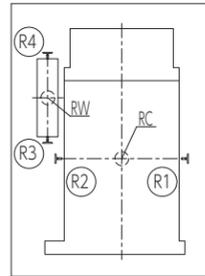
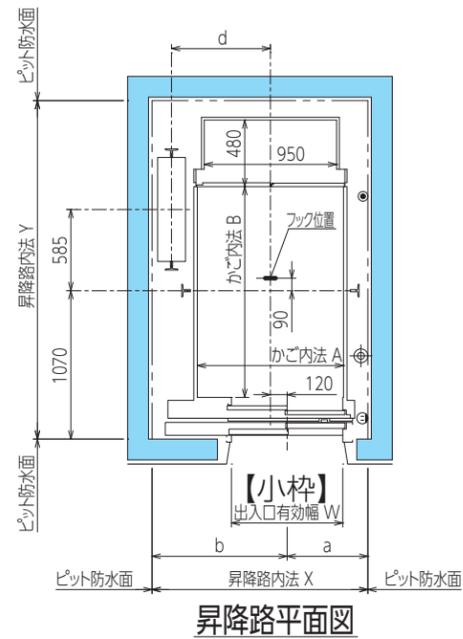
ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程	90m以下
R-9-2S-90	4200以下	3250~3400	
R-9-2S-105			
R-9-2S-120		3350~3500	

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）

1-9 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-9トランク付)
【昇降行程：60m以下の場合】

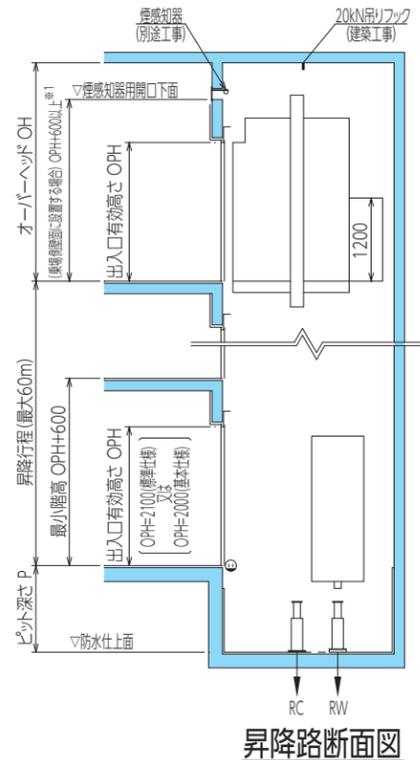
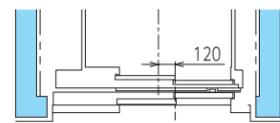
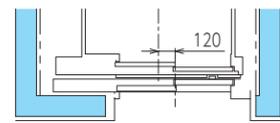
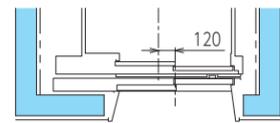


レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3000mm	(電気工事)
Ⓧ 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P	a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程						
					30m以下	45m以下	60m以下				
RT-9-2S-45	1050×1520	800	1550×2350	1550×2450	3000	3050	3150	1250	580	970	710
RT-9-2S-60					3350	3400	3500				
RT-9-2S-90			1600×2400	1600×2500	3450	3500	3600		605	995	715
RT-9-2S-105											
RT-9-2S-120											

- [注] ①昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
 ②昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。（建築工事）
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

荷重表

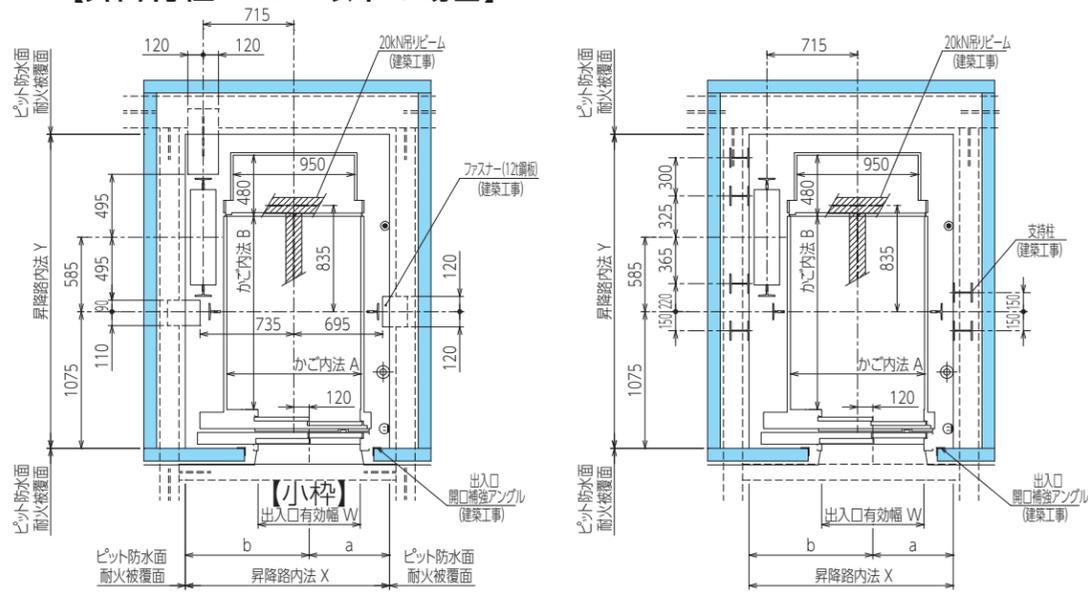
(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-45	33	35	44	24	61	57	4.3	4.0	5.2	2.8
RT-9-2S-60					76	71				
RT-9-2S-90					78	75				
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

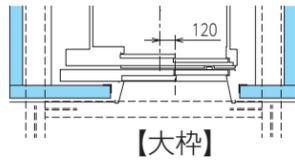
※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

1-10 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-9トランク付)
【昇降行程：60m以下の場合】

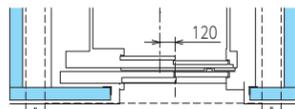


昇降路平面図
(ファスナーの場合)

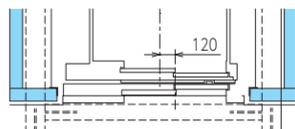
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



【大枠】

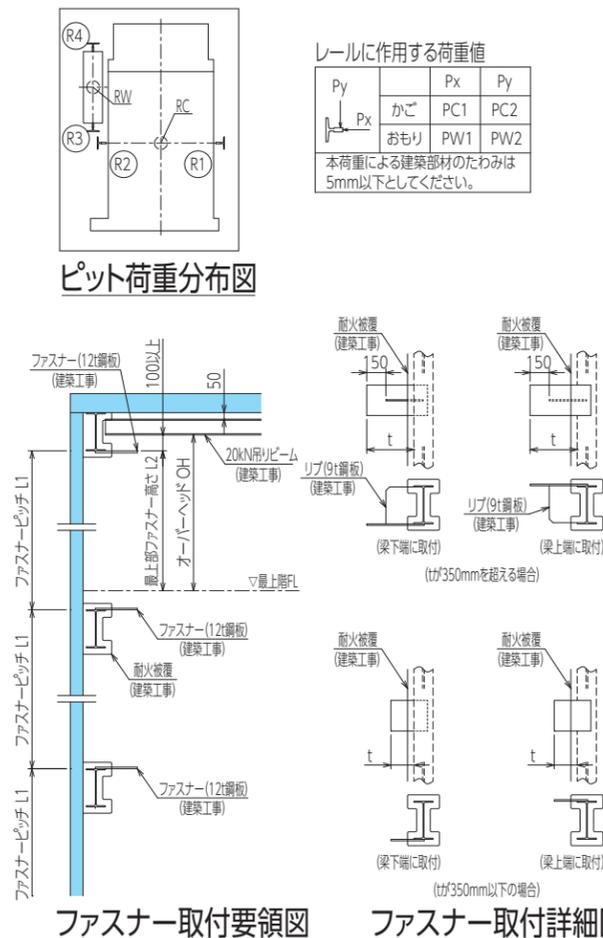


【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3000mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
RT-9-2S-45	1050×1520	800	1650×2400	1650×2500	3000	3050	3150	1250	630	1020
RT-9-2S-60					3350	3400	3500			
RT-9-2S-90					3450	3500	3600			
RT-9-2S-105										
RT-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム (建築工事) が必要となります。
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 ④最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針 (2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備 (別途工事) が必要となります。
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上 (仕上げを含まず) にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm² (Fc21) 以上確保ください。
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-45	33	35	44	24	61	57	4.3	4.0	5.2	2.8
RT-9-2S-60					76	71				
RT-9-2S-90					78	75				
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

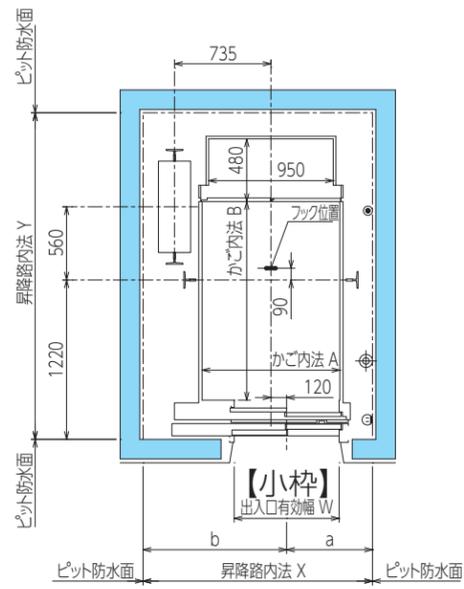
ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

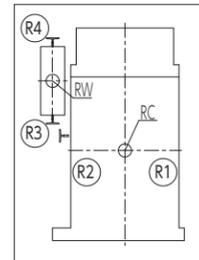
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
RT-9-2S-45	4050以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
RT-9-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
RT-9-2S-90		3200~3350	3250~3400	3350~3500
RT-9-2S-105				
RT-9-2S-120				

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

1-11 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-9トランク付)
【昇降行程：60m超の場合】



昇降路平面図



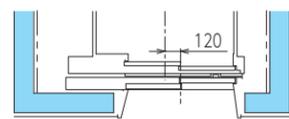
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

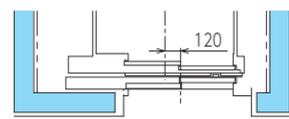
Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

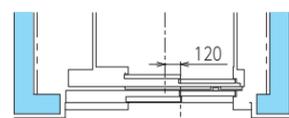
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±4500mm	(別途工事)
◎	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±3000mm	(電気工事)
①	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



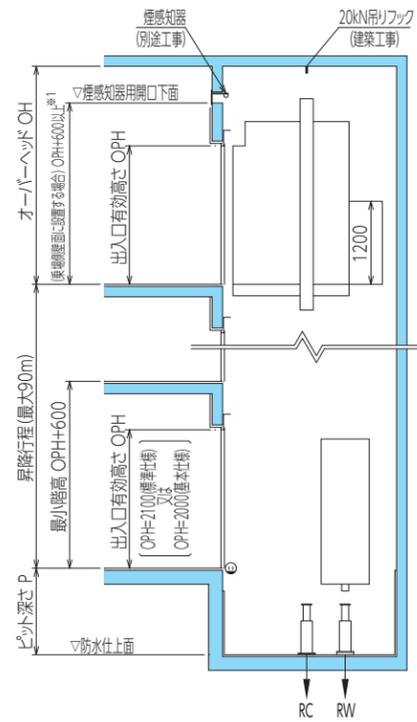
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
RT-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2400	1750×2500	3500	3600	1500	1850	680	1070
RT-9-2S-105					3600	3700				
RT-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑩昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

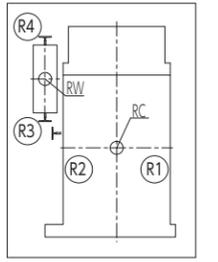
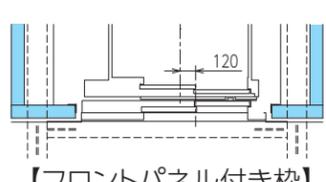
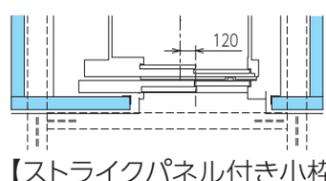
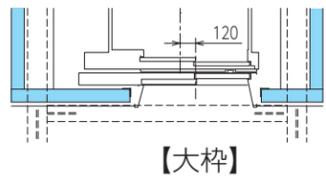
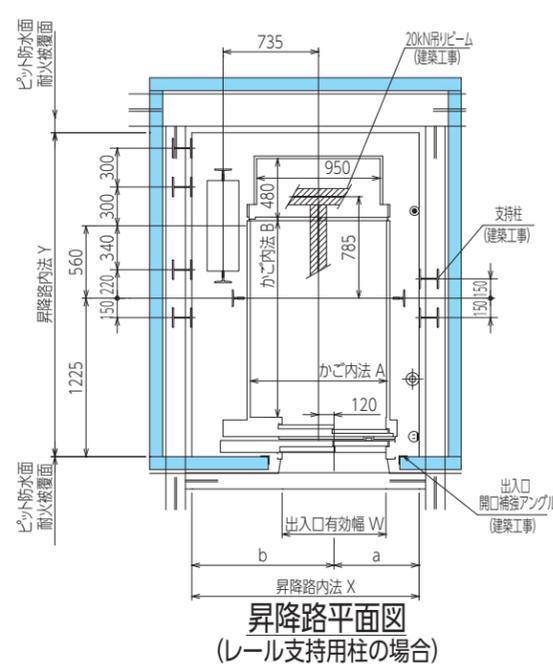
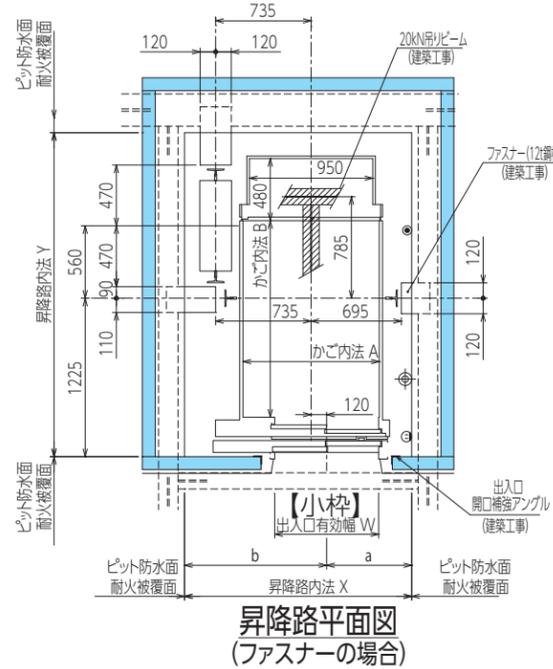
荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-90	41	60	37	30	78	75	4.4	3.5	5.3	2.8
RT-9-2S-105					80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

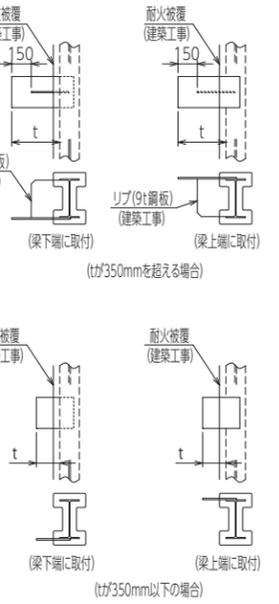
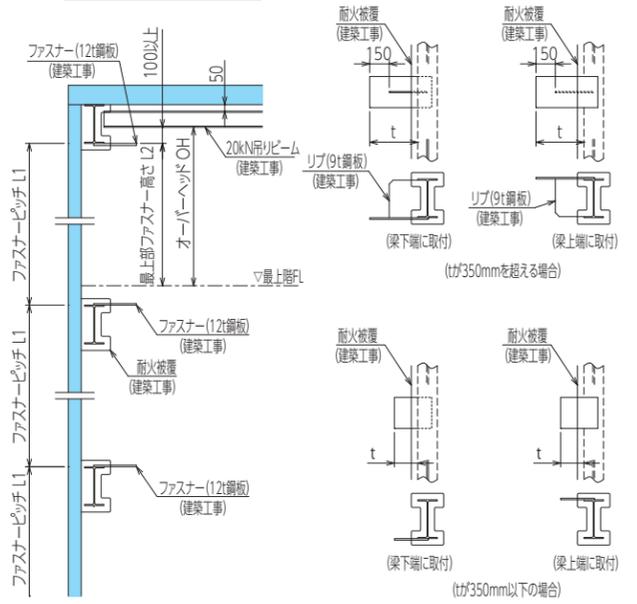
1-12 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-9トランク付)
【昇降行程：60m超の場合】



レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。



電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
NTTモジュラージャック 引き込み高さ：最下階FL±200mm 引出し電線長さ：4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ：最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ：H+4500mm	(別途工事)
電源引き込み位置 引き込み高さ：最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ：3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ：最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ：H+3000mm	(電気工事)
点検用コンセント100V 引き込み高さ：最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ：最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

(単位：mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥		ピット深さ P		a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程		昇降行程			
					80m以下	90m以下	80m以下	90m以下		
RT-9-2S-90	1050×1520	800	1750×2400	1750×2500	3500	3600	1500	1850	680	1070
RT-9-2S-105					3600	3700				
RT-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。（建築工事）
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm² (Fc21)以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位：kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S-90					78	75	4.4	3.5	5.3	2.8
RT-9-2S-105	41	60	37	30	80	77				
RT-9-2S-120					80	77				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

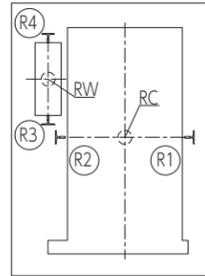
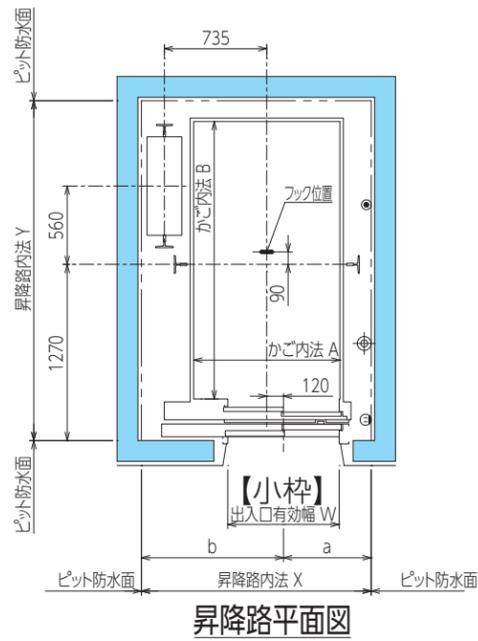
ファスナー取付寸法表

(単位：mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)	
		昇降行程	90m以下
RT-9-2S-90	4050以下	3250~3400	
RT-9-2S-105			
RT-9-2S-120		3350~3500	

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

1-13 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-13)

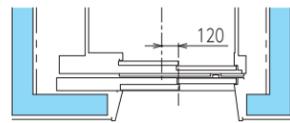


レールに作用する荷重値

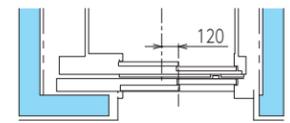
Py		Px	Py
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

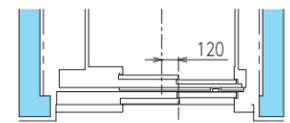
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±H-3000mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



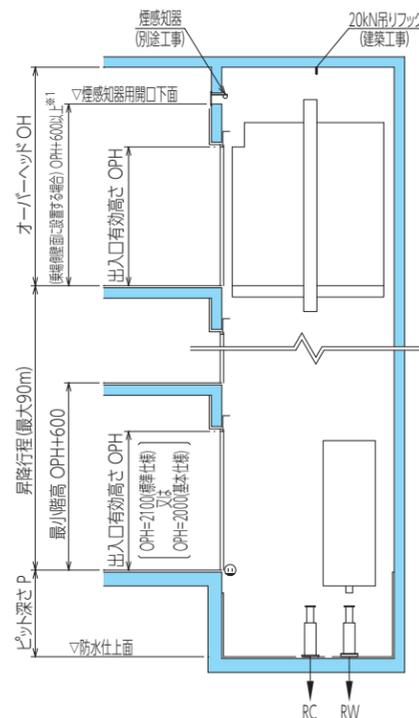
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y				オーバーヘッド OH 注⑥					ピット深さ P			a		b	
			フロントパネル付き枠		左記以外		昇降行程					昇降行程			昇降行程		昇降行程	
			昇降行程		昇降行程		昇降行程					昇降行程			昇降行程		昇降行程	
R-13-2S-45	1050×2000	800	60m以下	90m以下	60m以下	90m以下	30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	90m以下	60m以下	90m以下
R-13-2S-60			-	-	-	3000	3050	3150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R-13-2S-90			1650×2350	1650×2450	3350	3400	3500	3500	3600	1250	1500	1850	605	1045	1095			
R-13-2S-105			1750×2400	1750×2500	3450	3500	3600	3600	3700									
R-13-2S-120																		

- [注] ①昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム（建築工事）が必要となります。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 ④最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。（建築工事）
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針（2016年度版）耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備（別途工事）が必要となります。
 ⑧電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑨昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上（仕上げを含まず）にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²（Fc21）以上確保ください。
 ⑩かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑪昇降路の状況（隣接居室あり、耐震スリットあり等）によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

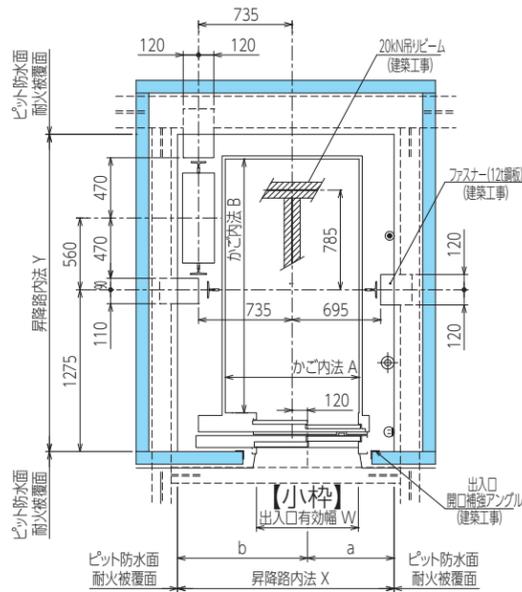
荷重表

(単位: kN)

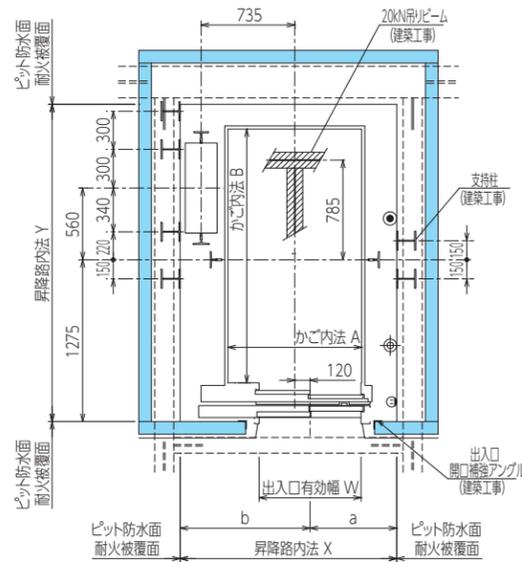
型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	37	38	48	25	75	66	5.0	4.0	6.0	3.2
R-13-2S-60					93	83				
R-13-2S-90					96	87				
R-13-2S-105					98	89				
R-13-2S-120					98	89				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。（耐震クラスA14）
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

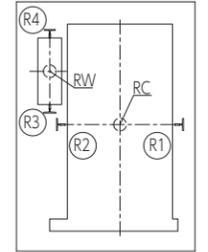
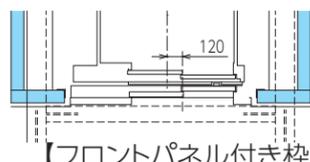
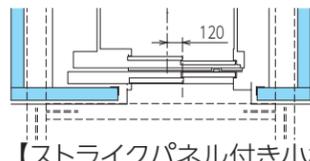
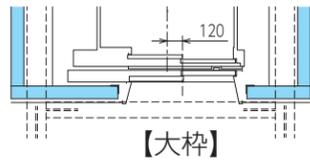
1-14 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-13)



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



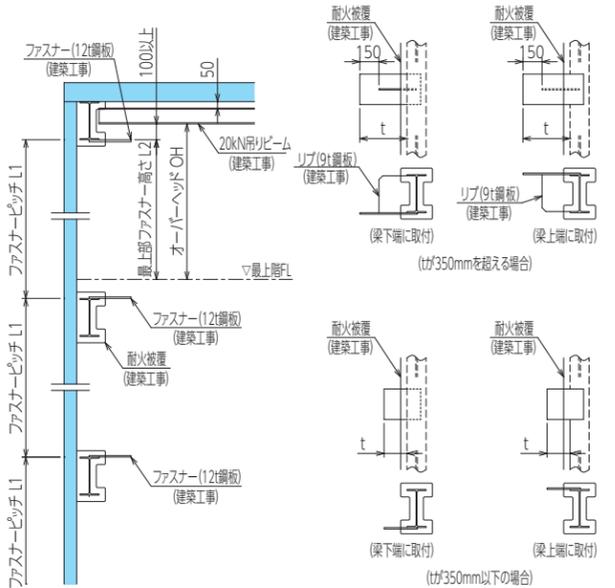
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



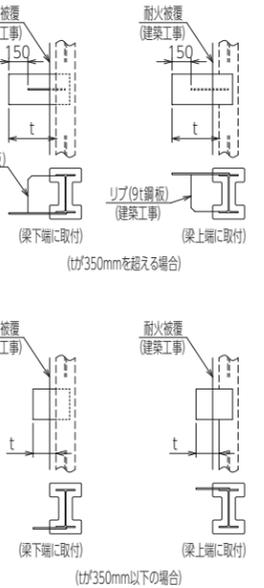
レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下とさせていただきます。



ファスナー取付要領図



ファスナー取付詳細図

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL±200mm 引出し電線長さ:4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ:3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ:最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ:H+3000mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ:最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y				オーバーヘッド OH 注⑥					ピット深さ P			a		b						
			フロントパネル付き枠		左記以外		昇降行程					昇降行程			昇降行程		昇降行程						
			昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程	昇降行程						
R-13-2S-45	1050×2000	800	1700×2400	1700×2500	1750×2500	30m以下	45m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	80m以下	90m以下	60m以下	90m以下	60m以下	90m以下						
R-13-2S-60						-	-	3000	3050	3150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
R-13-2S-90						1750×2400	1700×2500	1750×2500	3350	3400	3500	3500	3600	1250	1500	1850	630	1070	1095				
R-13-2S-105									3450	3500	3600	3600	3700										
R-13-2S-120																							

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は厚戻ししてください。(建築工事)
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内とさせていただきます。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	37	38	48	25	75	66	5.0	4.0	6.0	3.2
R-13-2S-60					93	83				
R-13-2S-90					96	87				
R-13-2S-105					98	89				
R-13-2S-120					98	89				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

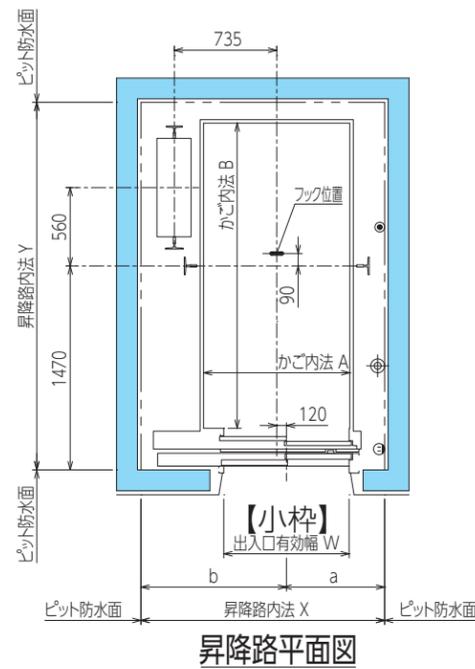
ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

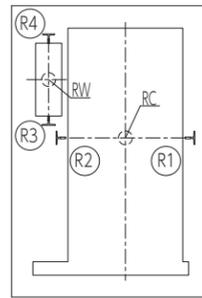
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)			
		昇降行程			
		30m以下	45m以下	60m以下	90m以下
R-13-2S-45	3700以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050	-
R-13-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400	3250~3400
R-13-2S-90		3200~3350	3250~3400	3350~3500	3350~3500
R-13-2S-105					
R-13-2S-120					

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

1-15 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-15)



昇降路平面図



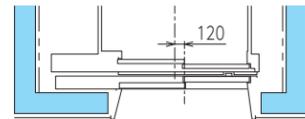
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

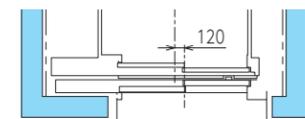
Py	Px	Py
Py	Py	Py
Px	PC1	PC2
Px	おもり	PW1
Px		PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

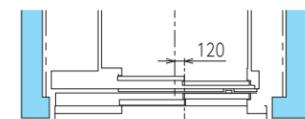
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±H+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: ±H+3000mm	(電気工事)
◎	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



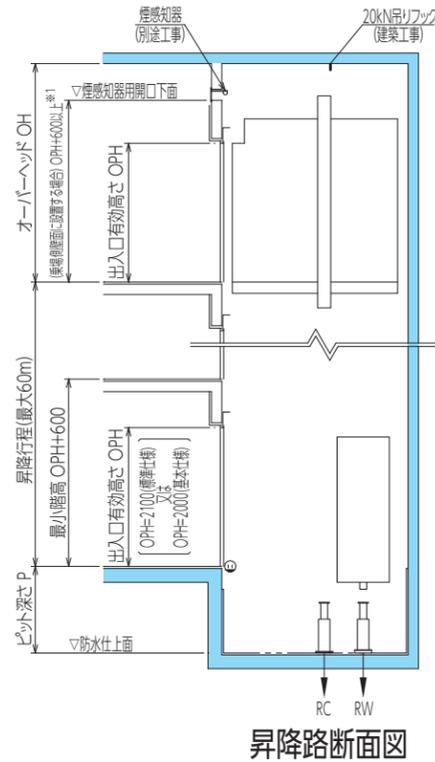
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル 付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-15-2S-45	1050×2200	800	1700×2550	1700×2650	3000	3050	3150	1250	655	1045
R-15-2S-60					3350	3400	3500			
R-15-2S-90					3450	3500	3600			
R-15-2S-105										
R-15-2S-120										

- [注] ①昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
 ⑩昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

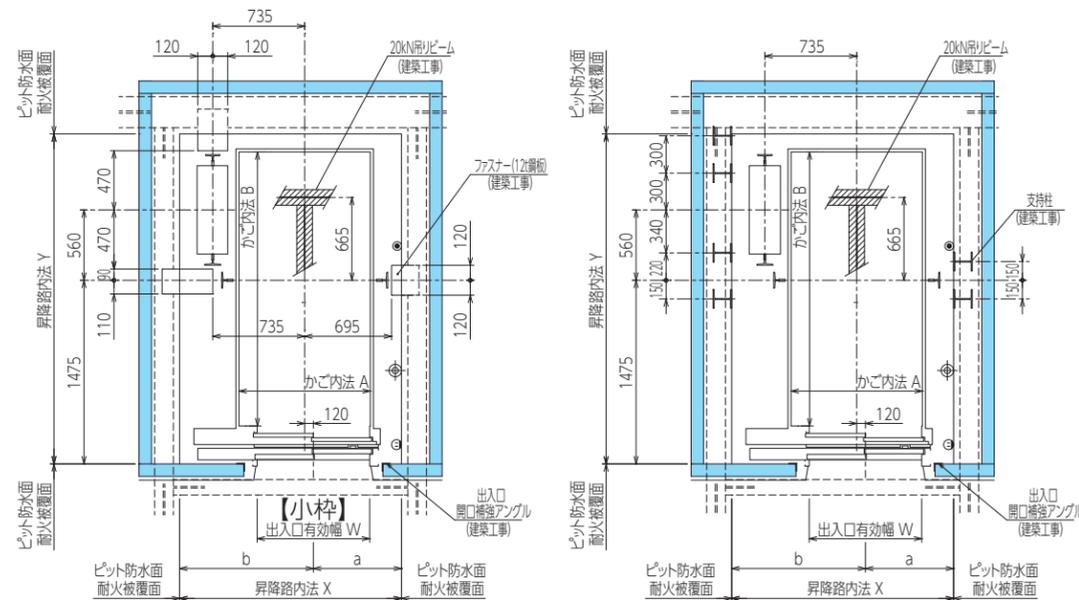
荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	38	56	32	25	81	70	5.2	4.5	6.5	3.4
R-15-2S-60					100	88				
R-15-2S-90					103	91				
R-15-2S-105					105	93				
R-15-2S-120					105	93				

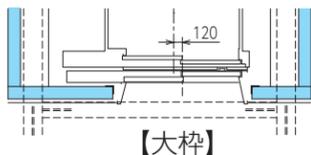
- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

1-16 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-15)

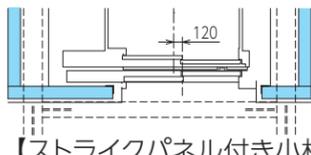


昇降路平面図 (ファスナーの場合)

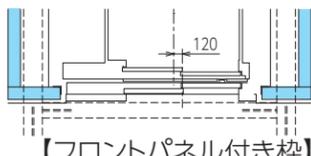
昇降路平面図 (レール支持用柱の場合)



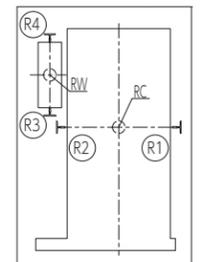
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



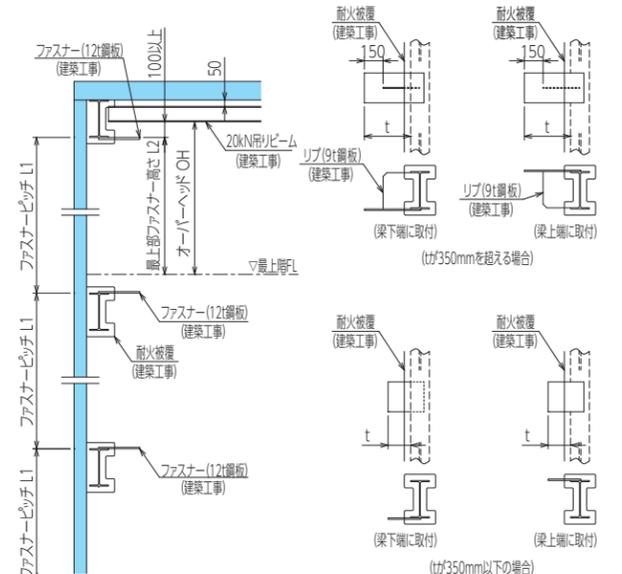
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引き出し電線長さ: 4500mm	● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引き出し電線長さ: H+4500mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引き出し電線長さ: 3000mm	⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H (天井裏レベル) 引き出し電線長さ: H+3000mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑥			ピット深さ P	a	b
			フロントパネル付き枠	左記以外	昇降行程					
					30m以下	45m以下	60m以下			
R-15-2S-45	1050×2200	800	1725×2550	1725×2650	3000	3050	3150	1250	655	1070
R-15-2S-60					3350	3400	3500			
R-15-2S-90					3450	3500	3600			
R-15-2S-105										
R-15-2S-120										

- [注] ①昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム (建築工事) が必要となります。
 ②ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ③最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ④ピット下部は原則として使用できません。
 ⑤昇降機耐震設計・施工指針 (2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑥クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備 (別途工事) が必要となります。
 ⑦電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑧昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上 (仕上げを含まず) にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm² (Fc21) 以上確保ください。
 ⑨かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	38	56	32	25	81	70	5.2	4.5	6.5	3.4
R-15-2S-60					100	88				
R-15-2S-90					103	91				
R-15-2S-105					105	93				
R-15-2S-120					105	93				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

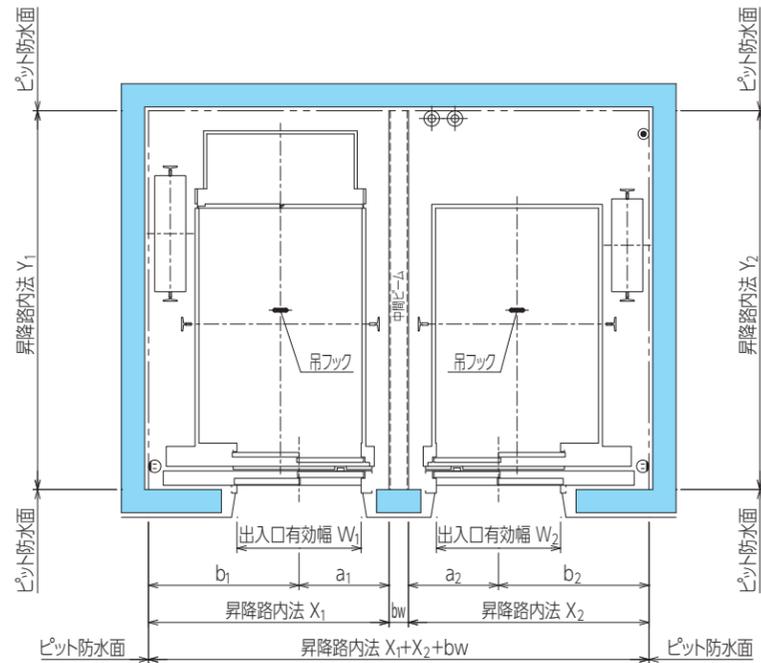
(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-15-2S-45	3550以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
R-15-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
R-15-2S-90				
R-15-2S-105				
R-15-2S-120		3200~3350	3250~3400	3350~3500

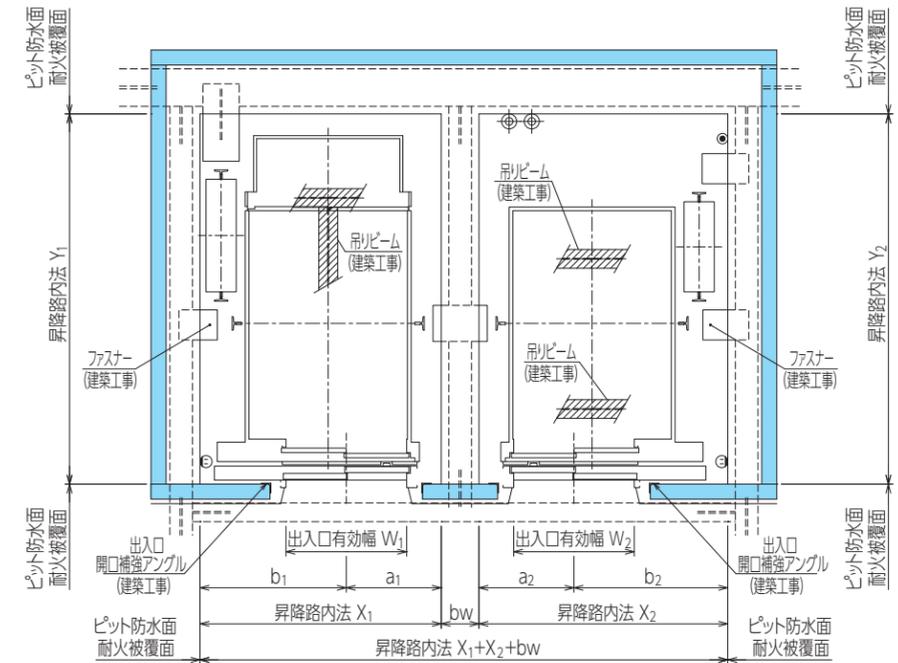
- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

1-17 2台並列設置の場合の寸法例

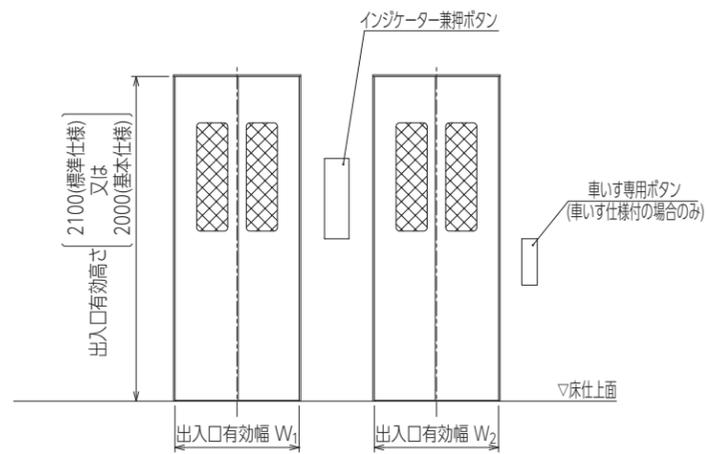
※a,b,X,Y寸法値についてはR住宅用エレベータの各機種寸法例のページを参照願います。



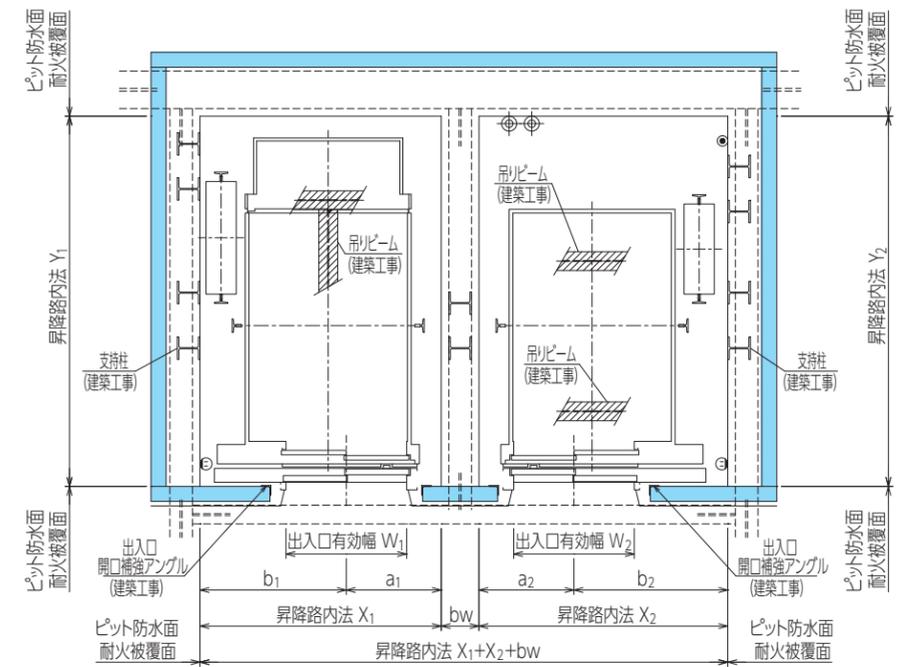
昇降路平面図
(RCの場合)



昇降路平面図
(ファスナーの場合)



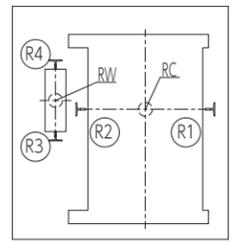
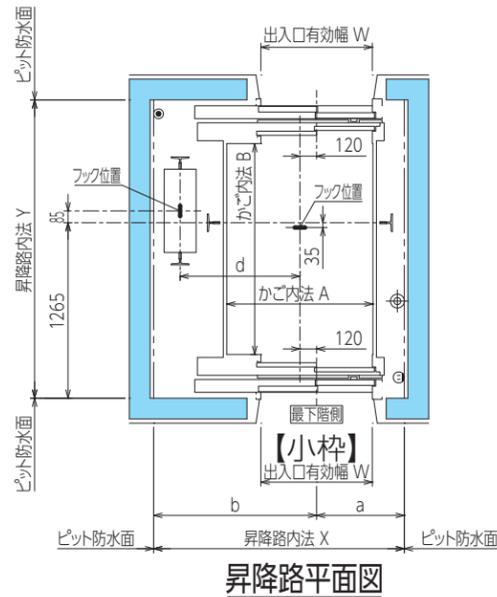
出入口正面図
注：防犯窓付きの場合を示します



昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)

Ⅲ-2 計画編 (二方向出入口)

2-1 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-9)

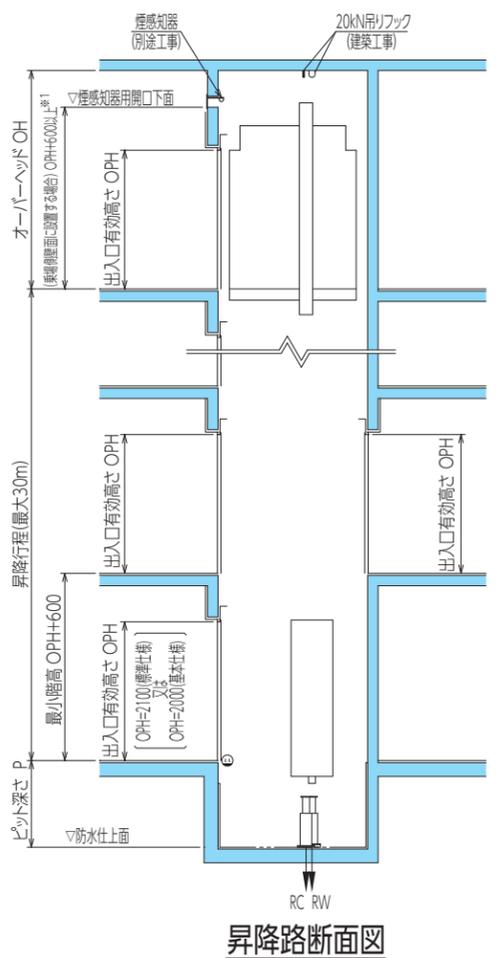
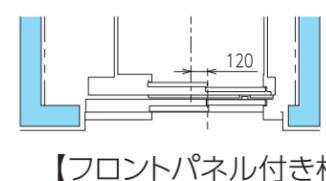
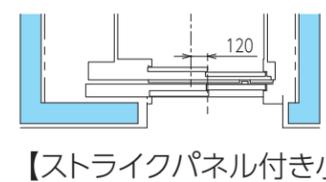
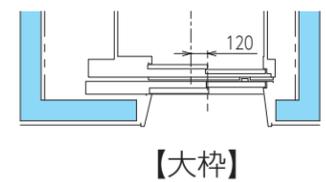


レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
Py	かご	PC1
Px	おもり	PW1
		PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NITモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6000mm	NITモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6000mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
ⓐ 点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル 付き枠	左記以外		標準	特殊			
R-9-2S-45	1050×1520	800	1800×1970	1800×2150	3000	1250	1700 (1600)	630	1170	870
R-9-2S-60										
R-9-2S-90										
R-9-2S-105										
R-9-2S-120										

- [注] ①昇降路内法はピット防水仕上の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は()内の寸法となります。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
 開閉機器点検口を設けられない場合
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
 別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
 ・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ・上記以外: Y±0
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑫昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

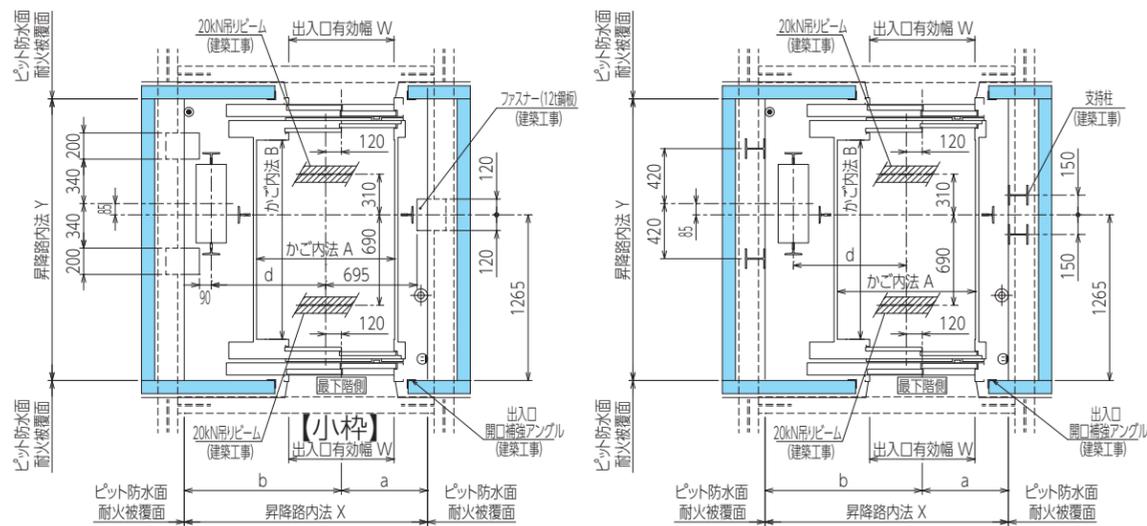
荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	27	32	37	13	65	60	4.7	4.0	5.7	3.0
R-9-2S-60					80	75				
R-9-2S-90					82	78				
R-9-2S-105					84	80				
R-9-2S-120					84	80				

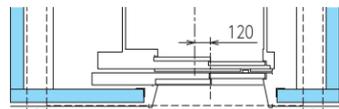
- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2-2 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-9)

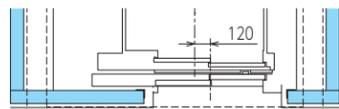


昇降路平面図 (ファスナーの場合)

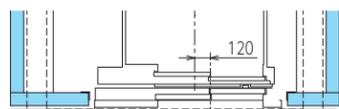
昇降路平面図 (レール支持用柱の場合)



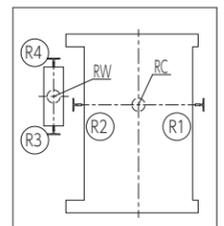
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



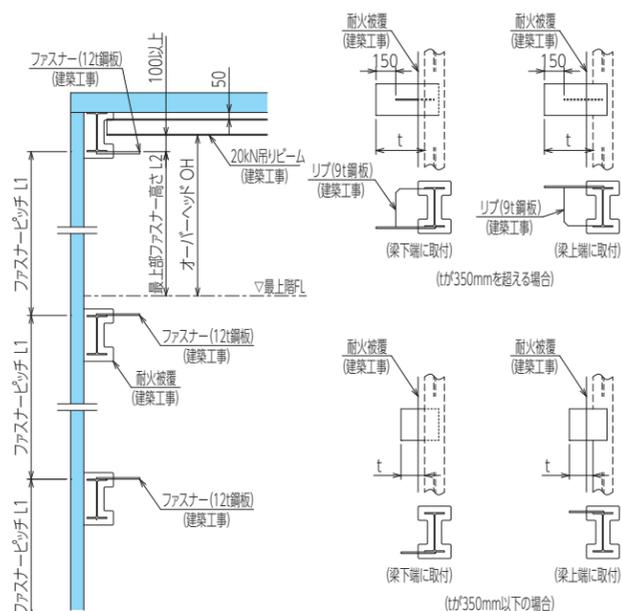
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py	
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 6000mm	● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+6000mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦ 昇降行程 30m以下	ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル付き枠	左記以外		標準	特殊			
R-9-2S-45	1050×1520	800	1850×1980	1850×2160	3000	1250	1700 (1600)	655	1195	870
R-9-2S-60										
R-9-2S-90										
R-9-2S-105										
R-9-2S-120										

- [注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は()内の寸法となります。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
 ・開閉機器点検口を設けられない場合
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
 別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
 ・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ・上記以外: Y±0
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S-45	27	32	37	13	65	60	4.7	4.0	5.7	3.0
R-9-2S-60					80	75				
R-9-2S-90					82	78				
R-9-2S-105					84	80				
R-9-2S-120					84	80				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

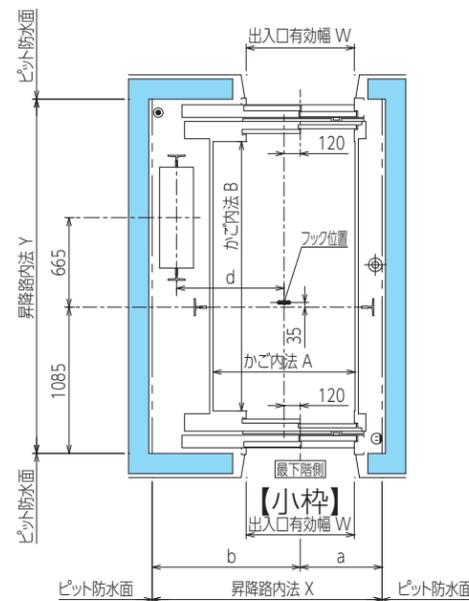
ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

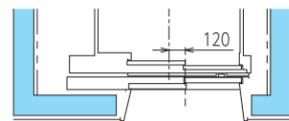
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)
		昇降行程 30m以下
R-9-2S-45	3700以下	2750~2900
R-9-2S-60		3100~3250
R-9-2S-90		3250~3350
R-9-2S-105		
R-9-2S-120		

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

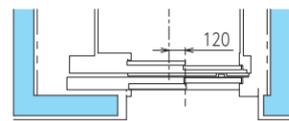
2-3 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-13)



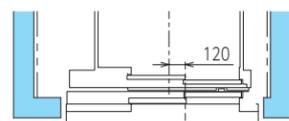
昇降路平面図



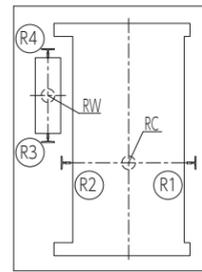
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き小枠】



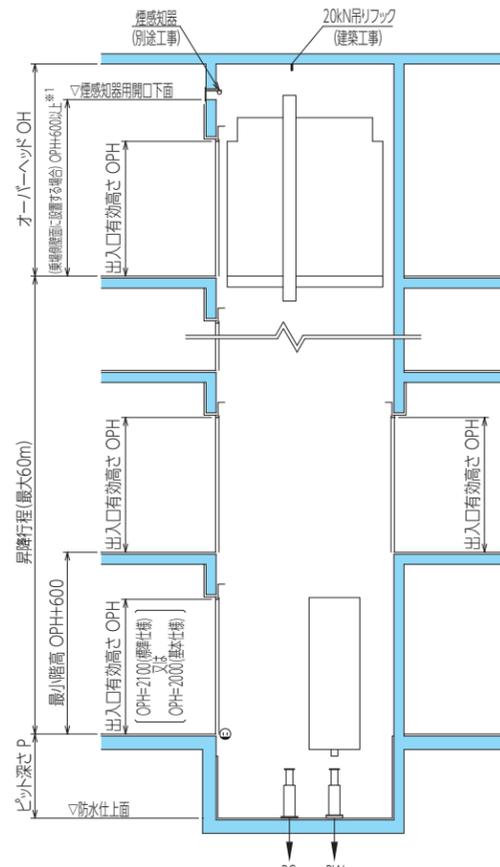
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	Px	Py
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

	電源等を床面付近から引き込み場合	電源等を天井裏から引き込み場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 地下階FL±200mm 引出し電線長さ: 8000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 地下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: 8000mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 地下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 地下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: 3500mm	(電気工事)
Ⓧ	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 地下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 地下階FL±200mm	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロント パネル付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-13-2S-45	1050×2000	800	1700×2450	1700×2630	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	605	1095	795
R-13-2S-60					3350	3400	3500					
R-13-2S-90					3450	3500	3600					
R-13-2S-105												
R-13-2S-120												

- [注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は()内の寸法となります。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 ⑤最大ピット寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
 ⑥ピット下部は原則として使用できません。
 ⑦昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑧クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑨上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法となります。
 ・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ・上記以外: Y±0
 ⑩電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑪昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑫かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。
 ⑬昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

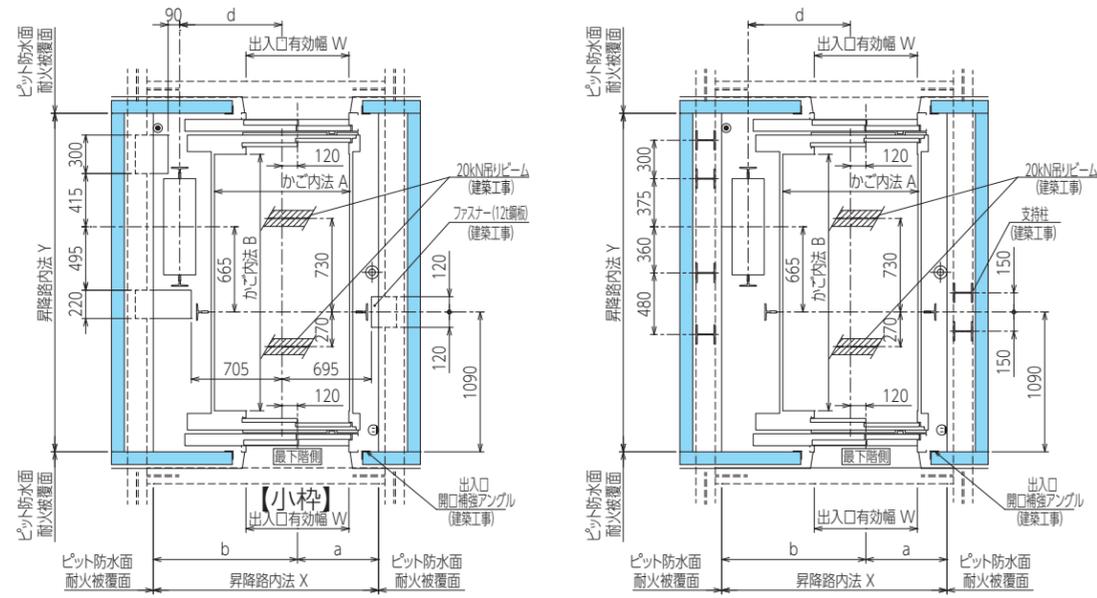
荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	38	16	67	31	80	71	5.4	4.8	6.6	3.4
R-13-2S-60					99	90				
R-13-2S-90					102	93				
R-13-2S-105					104	95				
R-13-2S-120					104	95				

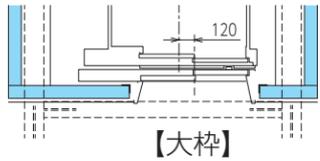
- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2-4 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-13)

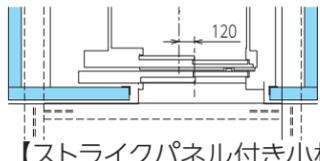


昇降路平面図
(ファスナーの場合)

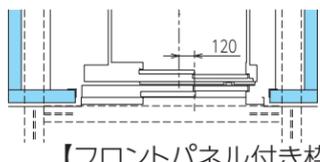
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



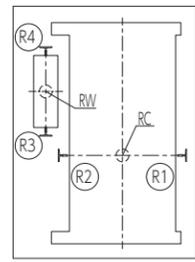
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



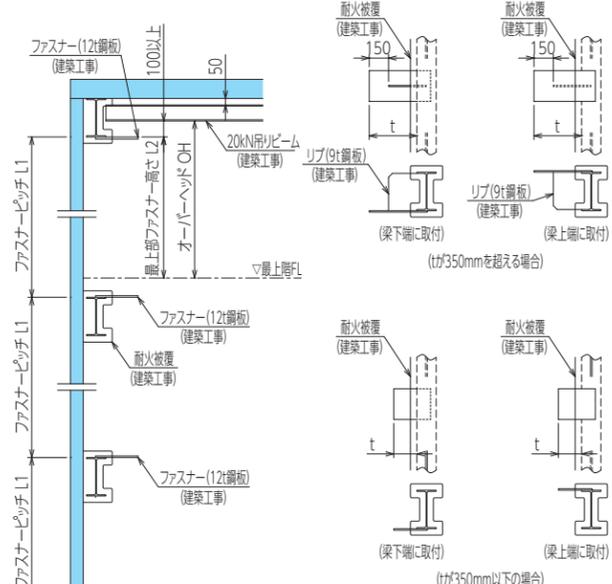
【フロントパネル付き小枠】



ピット荷重分布図



レールに作用する荷重値



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
● NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 8000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+8000mm	(別途工事)
⊕ 電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
⊙ 点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロント パネル付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-13-2S-45	1050×2000	800	1750×2460	1750×2640	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	630	1120	795
R-13-2S-60					3350	3400	3500					
R-13-2S-90					3450	3500	3600					
R-13-2S-105												
R-13-2S-120												

- [注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は()内の寸法となります。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧上表のフロントパネル付き枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮断エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法となります。
 ・正面ドア、背面ドア共通遮断エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮断エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ・上記以外: Y±0
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S-45	38	16	67	31	80	7	5.4	4.8	6.6	3.4
R-13-2S-60					99	90				
R-13-2S-90					102	93				
R-13-2S-105					104	95				
R-13-2S-120					104	95				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

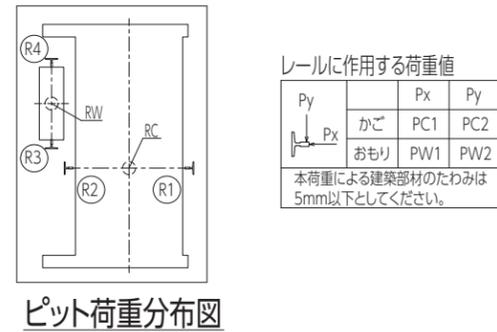
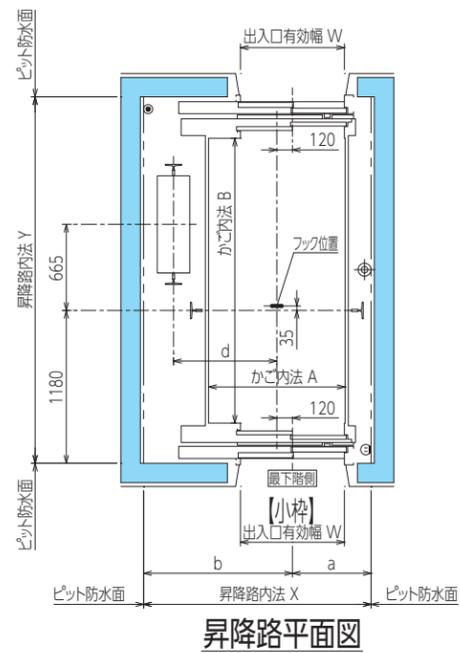
ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

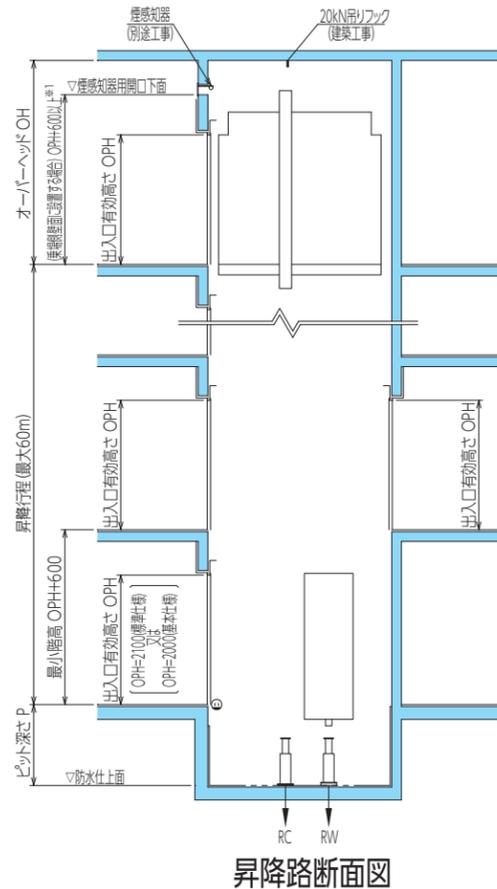
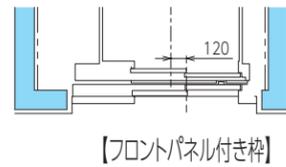
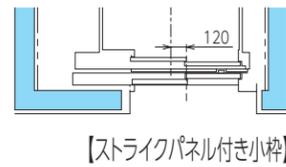
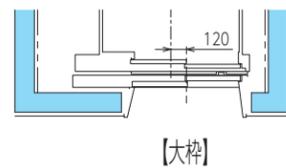
型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-13-2S-45	3400以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
R-13-2S-60		2750~2900	2800~2950	2900~3050
R-13-2S-90		3200~3350	3250~3400	3350~3500
R-13-2S-105				
R-13-2S-120				

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)

2-5 昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-15)



	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 8000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引き込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



※1. 幕板付きの場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル 付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-15-2S-45	1050×2200	800	1750×2650	1750×2830	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	655	1095	795
R-15-2S-60					3350	3400	3500					
R-15-2S-90					3450	3500	3600					
R-15-2S-105												
R-15-2S-120												

- [注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は()内の寸法となります。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び
 開閉機器点検口を設けられない場合
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版) 耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クレーンを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、
 別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧上表の昇降路内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
 ・正面ドア、背面ドア共通煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ・上記以外: Y±0
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
 ⑫昇降路の状況(隣接居室あり、耐震スリットあり等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

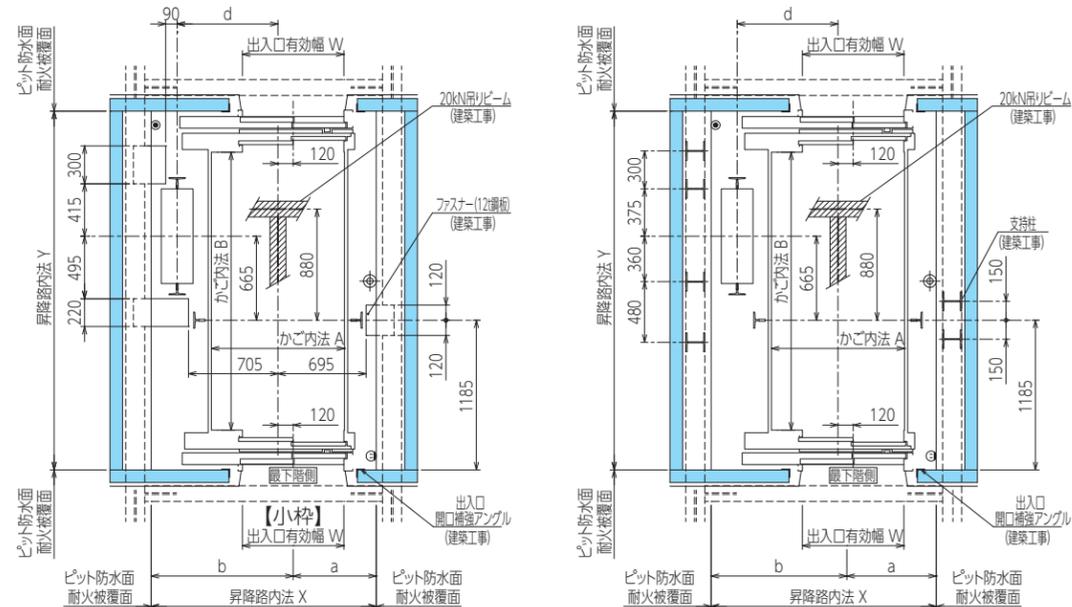
荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	39	16	69	32	86	75	5.6	4.8	6.9	3.6
R-15-2S-60					106	95				
R-15-2S-90					109	98				
R-15-2S-105					112	101				
R-15-2S-120					112	101				

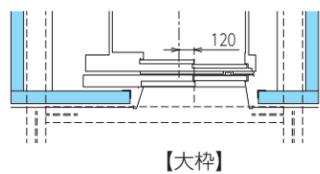
- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2-6 昇降路がS造の場合の寸法例 (R-15)

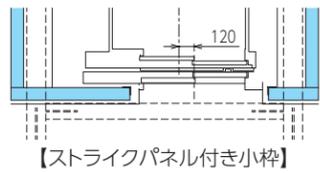


昇降路平面図
(ファスナーの場合)

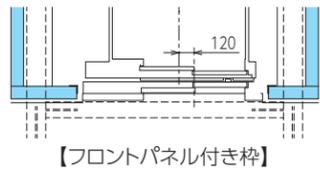
昇降路平面図
(レール支持用柱の場合)



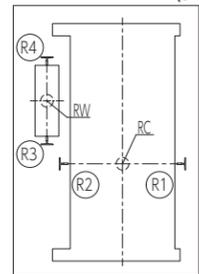
【大枠】



【ストライクパネル付き小枠】



【フロントパネル付き枠】



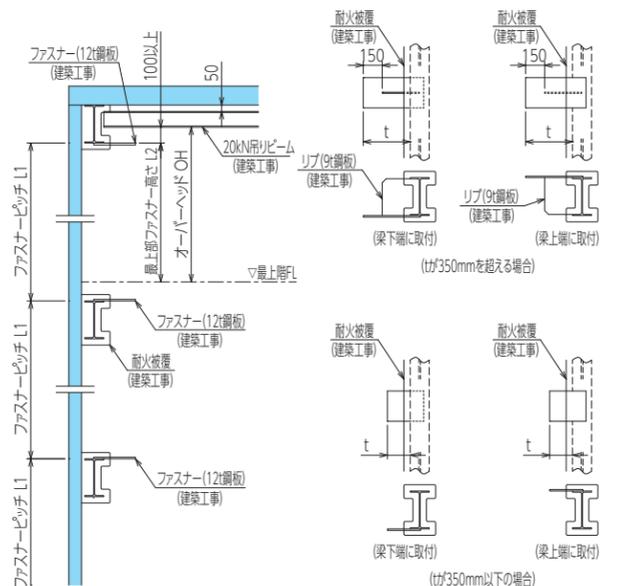
ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

Py	かご	Px	Py
	おもり	PC1	PC2
Px	おもり	PW1	PW2

本荷重による建築部材のたわみは5mm以下としてください。

電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL±200mm 引出し電線長さ: 8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+8000mm	(別途工事)
電源引き込み位置 引込み高さ: 最下階FL-200~0mm 引出し電線長さ: 3500mm	電源引き込み位置 引込み高さ: 最下階FL+H(天井裏レベル) 引出し電線長さ: H+3500mm	(電気工事)
点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	点検用コンセント100V 引込み高さ: 最下階FL±200mm	(電気工事)



ファスナー取付要領図

ファスナー取付詳細図

標準寸法表

(単位: mm)

型式	かご内法 A×B	出入口 有効幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH 注⑦			ピット深さ P 注②		a	b	d
			フロントパネル 付き枠	左記以外	昇降行程			標準	特殊			
					30m以下	45m以下	60m以下					
R-15-2S-45	1050×2200	800	1775×2660	1775×2840	3000	3050	3150	1250	1700 (1600)	655	1120	795
R-15-2S-60					3350	3400	3500					
R-15-2S-90					3450	3500	3600					
R-15-2S-105												
R-15-2S-120												

- [注] ①ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 ②以下の条件の時、ピット深さは「特殊」に記載している寸法を確保ください。※OPHが2100の場合は()内の寸法となります。
 ・正面側または背面側の乗場ドアが最下階のみ及び開閉機器点検口を設けられない場合
 ③昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 ④最大ピット寸法は2000mmです。
 最大ピット寸法を超える時は埋戻ししてください。(建築工事)
 ⑤ピット下部は原則として使用できません。
 ⑥昇降機耐震設計・施工指針(2016年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 ⑦クーラーを設置する場合は、上記のオーバーヘッドより延長となり、別途換気設備(別途工事)が必要となります。
 ⑧上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
 ・正面ドア、背面ドア共通遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
 ・正面ドア、背面ドアのいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
 ・上記以外: Y±0
 ⑨電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 ⑩昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 ⑪かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

荷重表

(単位: kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S-45	39	16	69	32	86	75	5.6	4.8	6.9	3.6
R-15-2S-60					106	95				
R-15-2S-90					109	98				
R-15-2S-105					112	101				
R-15-2S-120					112	101				

- [注] ①設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)
 ②オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

ファスナー取付寸法表

(単位: mm)

型式	ファスナーピッチ (L1)	最上階ファスナー高さ (L2)		
		昇降行程		
		30m以下	45m以下	60m以下
R-15-2S-45	3450以下	2750~2900	2800~2950	2900~3050
R-15-2S-60		3100~3250	3150~3300	3250~3400
R-15-2S-90		3200~3350	3250~3400	3350~3500
R-15-2S-105				
R-15-2S-120				

- [注] ①ファスナー取付が本要領を満足しない場合はレール支持用柱が必要となります。
 ②レール支持用柱のサイズは、エレベータの仕様や設置条件により異なりますので当社にご相談ください。
 ③設計用水平震度0.6、地域係数1.0の場合を示します。(耐震クラスA14)